

目 次

第 I 章 モデル調査結果

1. 調査の概要	I-1
1.1 目的	I-1
1.2 調査の実施期間	I-1
1.3 調査構成	I-1
1.4 調査の基本方針	I-6
1.4.1 調査・検討	I-6
1.4.2 安全管理	I-6
1.4.3 環境への配慮	I-6
2. 概況調査	I-7
2.1 目的	I-7
2.2 調査対象地域	I-7
2.3 調査実施時期	I-7
2.3.1 文献及びヒアリング調査	I-7
2.3.2 航空機調査	I-9
2.4 調査方法	I-9
2.4.1 文献及びヒアリング調査方法	I-9
2.4.2 航空機調査方法	I-11
2.5 調査結果	I-15
2.5.1 文献及びヒアリング調査結果	I-15
2.5.2 航空機調査結果	I-25
3. クリーンアップ調査	I-34
3.1 共通調査	I-34
3.1.1 目的	I-34
3.1.2 調査工程	I-34
3.1.3 調査方法	I-36
3.1.4 調査結果	I-53
3.2 独自調査	I-62
3.2.1 目的	I-62
3.2.2 調査工程	I-62
3.2.3 調査方法	I-64
3.2.4 調査結果	I-68
3.2.5 回収作業員の意識調査	I-132
4. フォローアップ調査	I-138
4.1 目的	I-138
4.2 調査方法	I-138
4.2.1 漂着ゴミの空間分布及び時間変動の解析方法	I-138
4.2.2 漂流・漂着メカニズムの推定方法	I-138
4.3 調査結果	I-140
4.3.1 漂着ゴミの空間分布及び時間変動の解析結果	I-140
4.3.2 漂流・漂着メカニズムの推定結果	I-144

5.	その他の調査	I-165
5.1	目的	I-165
5.2	調査内容	I-165
5.3	漂流ゴミの漂流経路及び漂着割合に関わる調査	I-166
5.3.1	山形県赤川河口部における標識放流調査	I-166
5.3.2	伊勢湾における漂流経路及び漂着割合に関する調査	I-177
5.4	漂着ゴミの発生源及び漂流経路に関わる調査	I-197
5.4.1	山形県赤川河口部における漂流シミュレーション	I-197
5.4.2	伊勢湾における漂流シミュレーション	I-226
5.5	医療系廃棄物等に係る実態調査	I-252
5.5.1	日本における医療機器および医薬品利用状況	I-252
5.5.2	わが国に漂着した医療系廃棄物の発生源の推定手法検討	I-278
5.5.3	製造元が判明した漂着ゴミに係る調査	I-292
5.6	観光資源価値向上の検討に係る調査	I-309
5.6.1	調査内容及び目的	I-309
5.6.2	調査内容及び調査方法	I-309
5.6.3	調査設計	I-310
5.6.4	調査結果	I-311
5.7	国内向け広報活動の検討	I-337
5.7.1	調査の目的	I-337
5.7.2	調査の内容	I-337
5.7.3	体験型啓発活動	I-337
5.7.4	漂流・漂着ゴミに関する啓発用パンフレットの作成	I-347
5.7.5	今後の広報活動に向けて	I-352
5.8	九頭竜川流域ゴミ問題ワークショップ開催の検討	I-354
5.8.1	目的	I-354
5.8.2	調査内容	I-354
5.8.3	九頭竜川流域ゴミ問題ワークショップの概要	I-356
5.8.4	今後に向けて	I-372
6.	検討会の実施	I-373
6.1	総括検討会	I-373
6.1.1	総括検討会の目的	I-373
6.1.2	総括検討会の構成	I-373
6.1.3	総括検討会の議事内容	I-373
6.2	情報交換会	I-431
6.2.1	「漂流・漂着ゴミ対策に関する情報交換会／海ごみプラットフォーム・JAPAN」	I-431
6.2.2	漂流・漂着ゴミ対策に関する情報交換会（第2回）	I-435

第II章 漂流・漂着ゴミに関する技術的知見

1. 漂着ゴミの量及び質	II-1
1.1 漂着ゴミの量	II-1
1.1.1 各モデル地域間の比較	II-1
1.1.2 経時変化	II-10
1.1.3 経年変化	II-20
1.1.4 年間漂着量の推定	II-26
1.2 漂着ゴミの質	II-29
1.2.1 各モデル地域間の比較	II-29
1.2.2 経時変化	II-34
2. 効率的かつ効果的な漂着ゴミの回収・処理方法	II-39
2.1 効果的な回収時期	II-39
2.2 回収・処理方法の試案	II-40
2.2.1 回収・搬出方法	II-40
2.2.2 収集・運搬方法	II-47
2.2.3 処分方法	II-48
2.3 試案に基づく費用の試算	II-51
2.3.1 前提条件	II-51
2.3.2 回収・処理費用のまとめ	II-54
3. 漂着ゴミの発生源及び漂流・漂着メカニズムの推定	II-60
3.1 漂着ゴミの国別割合	II-60
3.2 ライターを用いた国内発生源の推定	II-72
3.3 発生源（陸起源・海起源）の推定	II-78
3.3.1 一年間に回収された漂着ゴミの質	II-81
3.4 漂着ゴミの回収までの期間の推定	II-85
3.5 漂着ゴミの時空間変動	II-92
4. 第I章及び第II章のまとめ	II-94
4.1 山形県	II-94
4.2 石川県	II-96
4.3 福井県	II-98
4.4 三重県	II-100
4.5 長崎県	II-101
4.6 熊本県	II-103
4.7 沖縄県	II-105
4.8 モデル地域の類型化（案）	II-107
4.8.1 効果的な回収時期の観点からの類型化（案）	II-107
4.8.2 発生抑制対策のスケールの類型化（案）	II-110
5. 調査方法に関する課題	II-112

第Ⅲ章 モデル地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方
＜漂流・漂着ゴミ問題について＞

1. 漂流・漂着ゴミに関する取組の現状と課題	Ⅲ-1
1.1 漂流・漂着ゴミの実態調査及び清掃活動に関する取組	Ⅲ-1
1.1.1 国の取組	Ⅲ-1
1.1.2 各モデル地域の取組	Ⅲ-2
1.2 海岸清掃活動に関する現状と課題	Ⅲ-6
1.2.1 回収・処理に関する現状と課題	Ⅲ-6
1.2.2 清掃活動に対する支援のまとめ	Ⅲ-8
1.3 漂流・漂着ゴミの発生抑制対策の現状と課題	Ⅲ-13
1.3.1 国の取組	Ⅲ-13
1.3.2 各モデル地域の取組	Ⅲ-13
1.3.3 漂流・漂着ゴミの発生抑制対策の課題	Ⅲ-17
2. 今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方の方向性	Ⅲ-18
2.1 相互協力が可能な体制作りについて	Ⅲ-18
2.1.1 関係省庁会議とりまとめにおける体制作りの方向性	Ⅲ-18
2.1.2 各モデル地域における相互協力が可能な体制作りの方向性	Ⅲ-19
2.1.3 漂着ゴミ対策における相互協力の先進事例	Ⅲ-20
2.2 海岸清掃の体制のあり方の方向性	Ⅲ-28
2.2.1 各モデル地域の方向性の検討結果	Ⅲ-34
2.3 漂流・漂着ゴミの発生抑制対策のあり方の方向性	Ⅲ-35
2.3.1 国内由来の漂流・漂着ゴミに関する取組	Ⅲ-35
2.3.2 海外由来の漂流・漂着ゴミに関する取組	Ⅲ-42
3. 漂流・漂着ゴミ対策の実現に向けて	Ⅲ-45
4. 漂流・漂着ゴミ削減方策に資するための調査の課題	Ⅲ-48
4.1 調査の役割	Ⅲ-48
4.2 成果と課題	Ⅲ-50
5. 漂流・漂着ゴミ国内削減方策に関する今後の提言について	Ⅲ-54
参考文献	文献-1